

行政報告

一 新型コロナウイルス感染症対策について

オミクロン株の流行により、第七波となる全国的な感染拡大が続いております。本市においても、七月中旬以降、新規感染者数が急増し、百人以上の発生が続く、高止まりの状況となっております。

こうした中、ワクチンの接種により重症化を防ぐことがなによりも重要となります。

このため、若者をはじめとする、三回目未接種の方への接種や、六十歳以上の方への四回目接種を促進するため、医療機関による個別接種に加え、週末及び夜間の集団接種や医療機関が少ない地域での臨時集団接種を実施するなど、医師会をはじめとする関係機関の協力を得て対策を進めております。

また、国からオミクロン株に対応した改良型ワクチンの接種に向け、体制を確保するよう通知がありましたことから、接種開始時期が決定し次第、速やかに接種を開始できるよう準備を進めることとし、この度の補正予算に必要となる経費を計上いたしております。

二 ウクライナ情勢等を背景にした原油価格・物価高騰対策について

本市における原油価格・物価高騰による影響への対応については、先の六月議会でご承認をいただきました、国の給付金事業である食材費の高騰等に直面する子育て世帯への特別給付金を速やかに支給いたしました。

また、市の事業として、電気料金等が高騰する中で、夏場の光熱費の負担軽減

を目的とした生活応援給付金の支給を八月から開始しており、子どもたちにしつかりと食事で栄養をとってもらうために配付したクーポン券についても、現在、利用が開始されております。

さらに、物価高騰の影響を受ける中小企業者や農業者、漁業者の省エネに向けた設備や機械類の整備に対する支援等についても、八月から、県や防府商工会議所等としつかりと連携し、進めております。

このように、対策をしつかりと実施するとともに、物価高騰の状況が長期化することも想定されますので、八月十九日には、七月に引き続き、防府商工会議所、山口県農業協同組合、山口県漁業協同組合で構成される合同会議を開催し、状況の把握に努めております。

今後も、国の動向をしつかりと注視しながら、市としてとるべき対策を、機動的に講じてまいりたいと考えております。

また、市におきましても、電気料金の値上げ等による財政への影響が危惧されることから、徹底した節電をはじめ、各種経費の節約に取り組んでいるところでございます。

三 駅北公有地への民間活力の導入について

長年の課題であった旧国鉄官舎跡地を含む駅北公有地について、この度、公募型プロポーザル方式により、誰もが歩きたくなる「まちなか」づくりを提案された、大英産業株式会社だいえいさんぎょうを活用事業者として選定し、この度の議会に土地の処分についての議案を提出いたしております。

既に、市道栄町藤本町線の一部開通、駅周辺駐車場の一体化と利用料金の一本化に加え、笑顔満開通りルルサス防府にルルサス文化センターがオープンしております。

二年後には、新庁舎が完成することから、コンパクトなまちづくりが大きく前進すると考えております。

なお、総合計画でお示ししている富海三世代住宅用地については、住宅用地として活用することを条件に売却手続を進めております。

四 第五十三回防府読売マラソン大会について

コロナ禍におきましても、防府おどりが三年ぶりに復活し、防府天満宮の花火大会や安芸高田市の神楽記念公演など、多くのイベントが開催され、防府のまちが元気になる中で、第五十三回防府読売マラソン大会が、例年より二週間早い十二月四日に開催されます。

ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ男子グレード1を取得し、国内トップレベルとなった大会を大いに盛り上げるため、防府駅構内へのカウントダウンボードの設置や、笑顔満開通りアスピラートへの大会の歴史についての展示など、様々な取組を行っているところでございます。

こうした中、先月、本市で行われた講演会において川内優輝選手かわうちゆうきから、今年も防府読売マラソン大会に出走されるとの嬉しい発表をいただきました。

そして、平成二十一年第四十回大会からスタートした女子マラソンについては、グレード3の大会とするため、現在、関係者とともに手続を進めております。

これにより、オリンピックにつながる大会となり、レベルの高いランナーが、より多く参加され、更に盛り上がることを期待しております。

これまで先人が積み重ねてこられた努力を礎いしずえとする、歴史ある防府読売マラソン大会を、市民の皆様とともにコロナを乗り越え、更に発展させてまいりたいと考えております。